火のしまつ 君がしなくて 誰がする

境港市消防保安協会 会報

発行所
境港市消防保安協会
境港市中野町2116
境港消防署内
電話 47－0119
FAX 47－0031
印刷所 ㈲共同印刷所
平成21年3月1日
第50号

火の用心

ごあいさつ

境港市消防保安協会
会長 渡辺明彦

早春の候、会員の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申しあげます。

皆様には、日ごろから本協会の運営に対しまして格別のご高配とご協力を賜り厚くお礼申しあげます。

百年に一度と言う世界同時不況で始まった平成二十一年も、すでに二ヶ月が経過しており、一日も早く、景気回復の実感できる世の中になることを切に願っている昨今です。

さて、当協会の歴史を振り返って見ますと、昭和三十六年一月八日に「各事業所の防災体制の確立、ひいては境港市の防災体制確立の基盤」として先輩諸氏のご努力により設立されて以来、半世紀の歳月が流れ、本年は、大きな節目を迎えることとなりました。

この記念すべき節目を迎えるにあたり、昨年の総会で承認を受け五十周年記念事業実行委員会を組織し、本年の十月には記念事業を開催する予定となっております。

しかしながら、この様な事業は、会員の皆様のご協力なくして推進することはできません。

どうか皆様におかれましても、本事業の主旨をご理解の上、ご賛同、ご協力いただきますようお願いいたします。

先輩諸氏が営々と築かれてきた当協会も創立五十周年を迎えるにあたり、地域社会に根ざした団体として、より安全な社会の実現に向け、努めてまいりたいと考えております。

最後になりましたが、会員の皆様方のますますのご活躍とご健勝を祈念申し上げ、わたしの挨拶といたします。

「消防保安協会のおいたち」（七）

遠藤　量

☆「協会創立五十周年」

境港市消防保安協会創立五十周年を迎えました。

昭和三十六年一月八日、わが協会は産声をあげて半世紀、当時をふりかえりますとＪＲ境港駅西側に位置する山陰地区最大の石油基地、石油タンクが林立する姿は壮観であり、伸び行く市のシンボルであった。

その反面、一朝有事の心配は市民の間にも募るものがありました。少しでもそれを解消しようとの趣旨が消防保安協会の原点となり、その使命を果すこと五十年。会員一同喜びたいものです。

☆「消防保安協会」に改称

創立は「境港市危険物保安協会」の名称で発足しましたが、より広い活動を展開しようということで、昭和三十七年五月二十二日、第三回総会において「境港市消防保安協会」に改称されました。

石油・ガスの危険物関係のみを対象としていたのを広く一般企業、一般市民にも輪を拡大、会員数も大幅に増えました。

当時の協会の事業を書き出してみますと

㈠防火管理者資格取得講習会

㈡危険物取扱主任者試験事前講習会

㈢化学消防車購入支援運動

㈣火災予防標語の募集運動

などが展開されて来ています。多くの試験合格者の方が市内外でご活躍です。火災予防週間は春秋二回ありますが、今でも〝火災予防標語〟は生きております。

・消す心　置いてください　火のそばに

・その油断　火から炎へ　災いへ

・火は消した？　いつも心に　きいてみて

・あなたです　火のあるくらしの　見はり役

・消さないで　あなたの心の　注意の火

☆「損保号」寄贈運動

昭和三十七年、「消防自動車Ａ二級」を日本損害保険協会から寄贈を受けました。

当時、消防保安協会初代足立忠次氏、柏木整一郎市長、林義人消防長などのご努力で受領が実現しました。わが保安協会も支援活動の展開などして少なからぬ貢献をいたしました。

☆五十周年事業に向けて

わが消防保安協会創立五十周年、祝賀記念事業への準備が進められています。

創立三十周年式典は、平成元年十一月、境港マリーナホテルで開催。記念支援事業として第一回境港市幼年消防大会が開催されました。

創立四十周年式典は、平成十年十一月、境港市民会館で開催。〝四十年のあゆみ〟の記念冊子を発刊して、市内外へ当協会活動をＰＲし、防火思想の高揚に努めています。〝四十年のあゆみ〟を紐解くとわが協会の歴史と活動成果が甦ります。五十周年記念誌の発刊に取組んでほしいと願わずにはおれません。

平成二十年四月現在の会員数一六一名。会員拡大は協会の力にもなりますし、災害のない、火災のない境港市の繁栄につながります。保安協会報の役割の大きさを再認識して境港市消防保安協会の創立五十周年を喜び、隆盛に結びつけたいものです。

（元境港市消防本部職員）

えんどう・りょう氏

昭和11年　境港市生まれ。

境港市民生部長、特別養護老人ホーム博愛苑苑長を経て、現在は、日吉津村教育委員会教育長。

境港市消防保安協会 創立五十周年記念にむけて 第一回実行委員会が開催

平成二十年度の定期総会で境港市消防保安協会創立五十周年記念を行うことが了承され、創立五十周年記念事業を行うための実行委員会が、渡辺会長始めとした六名の会員と事務局三名の人員で発足しました。

平成二十一年一月二十七日（金）、「第一回境港市消防保安協会創立五十周年記念事業実行委員会」が境港市上道町のさかいみなと荘に於いて開催され、創立五十周年記念事業の素案がまとまり、五十周年にむけて始動しました。

第29回 事業所対抗消火競技会

事業所対抗消火競技会（境港市消防保安協会主催）を平成二十年十月十日（金）に会員事業所より十四チーム（二十八名）の参加をいただき、境港消防署の協力のもと境港消防署訓練場において開催しました。

さわやかな秋晴れのなか、一チーム二名で連携をとり、消火器による油火災の消火と、消火栓ホースを延長し放水による的落しやペール缶内のボール落しの競技により、各チーム力の限りを尽くし消火技術を競いあいました。

また、この日は、保育所の可愛い見学者さんにたくさんの応援をいただき、各チームともより一層頑張っていたようでした。

そして、ご協力いただきました境港消防署の皆様ありがとうございました。

第一位
東西オイルターミナル㈱境港油槽所
チームＴＯＴ境港　松本文博・伊田保正

第二位
㈱アクティ境港営業所
アクティＡ　島田弘之・石倉　正

第三位
㈱吉備総合電設　消火魔　梅原浩二・池内　悟

平成二十年度表彰

平成二十年度に表彰を受けられた方々（事業所・個人）です。おめでとうございます。

全国危険物安全大会

＊財団法人全国危険物安全協会理事長表彰（個人1）
- 境港市消防保安協会会長
  渡辺　明彦（渡辺商店）

鳥取県危険物安全大会

＊鳥取県知事表彰（個人1）
（危険物優良取扱者）
- 門脇　俊行（鳥取県済生会境港総合病院）

＊鳥取県危険物保安協会連合会長表彰（事業所2）
- 三光株式会社
- 株式会社ニヤクコーポレーション

＊境港市消防保安協会会長表彰（事業所2、個人1）
- さかい幸朋苑
- 鳥取県済生会境港総合病院
- 門脇　俊行（鳥取県済生会境港総合病院）

視察研修

平成二十年十一月六日会員、事務局九名にて、愛媛県西条市にあるアサヒビール四国工場を視察しました。

アサヒビール四国工場は、四国唯一の大規模ビール工場で一九九八年に造られ、ビールが出荷されるまでの工程を見学出来るようになっています。広大な工場にあって従業員数は九十名程と少なく、オートメーション化された工場にあって、その人員の大半が製品品質の管理にあたっていました。また見学を受け入れることもあり、防災面に対しても十分な配慮がなされていたと思います。他には、メタンボイラー、炭酸ガス捕集設備その他の環境対策設備等を導入し、環境対策にも力を入れていました。

《火災から家族を守る！》

＊＊＊住宅用火災警報器＊＊＊

◎　住宅火災による死者数は急増しており、死に至った原因の７割は逃げ遅れです。火災の発生をいち早く感知し逃げ遅れを防ぐため、適正な箇所に設置しましょう。

1　寝　室
就寝に使用する部屋の天井又は壁面に設置します。

2　階　段
就寝に使用する部屋がある階の階段の踊場の天井又は壁面に設置します。

3　台　所
できるだけ設置することが望ましい（努力規定）となっています。

◎　全ての住宅には、**平成２３年５月３１日までに設置**が必要です。

試験情報

平成二十一年度の消防試験センターが行う各試験の日程です。

＊危険物取扱者試験

第一回
試験種類　甲種、乙種、丙種
試験日　平成二十一年六月十四日(日)
願書受付期間　平成二十一年四月十三日(月)～四月二十七日(月)

第二回
試験種類　甲種、乙種、丙種
試験日　平成二十一年十一月一日(日)
願書受付期間　平成二十一年九月七日(月)～九月二十四日(木)

第三回
試験種類　乙種
試験日　平成二十二年一月三十一日(日)
願書受付期間　平成二十一年十一月二十日(金)～十二月七日(月)

試験会場　（西部地区予定）
米子職業能力開発促進センター
米子コンベンションセンター

※　危険物取扱者試験準備講習会は第一回と第二回の試験に併せて開催する予定です。

＊消防設備士試験

試験種類　甲種、乙種
試験日　平成二十一年八月二日(日)
願書受付期間　平成二十一年六月八日(月)～六月二十四日(水)
試験会場　（西部地区予定）
米子コンベンションセンター